

『東日本大震災により被害を受けた方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。またお亡くなりになった方々のご冥福を祈り、つつしんで哀悼の意を表します』

地震と津波により、家も畑も船も工場も商店も病院もそして家族もみんな奪われた人々、安全といわれた原発の破壊、それによる放射能被害、避難生活に追い込まれた人々の不安、苦しみなど書いても書いても伝えきれものではないでしょう。第150回の「やすらぎコンサート」は、3月16日、こうした状況のなか、会場のラポール側からの申し入れもあり、「中止」のやむなきにいたりました。皆様には大変ご迷惑をおかけしました。当日のゲストは、歴史と伝統の「横浜木曜会」の予定でした。『来月末に定期演奏会を控えての今回の演奏、楽しみです、私たち「やすらぎ混声合唱団」とはくらべものになりませんが…参考になると思います』とまぼろしの第150回のプログラムには紹介させていただいていました。4月30日(土)には予定通り演奏会を実施するそうです。ご盛会を期待しています。

さて今回のゲストは久しぶりのフルーティスト樋口聖子さんの登場です。しみじみと清らかな音色に聴き入りましょう。何もかも無くなり、無残な瓦礫のなかに、ポツンポツンとコンクリートの建物、川も海も…こんな光景を私は9才の時、広島で見ました。今でもそれは、私の脳裏に焼きついています。あの頃日本のいたるところが焦土と化し、東京も横浜も、人たちはとぼとぼと歩いていました。

しかし、その焼け野原から、私たちは立ち上がりました。1年、2年と…この国はそんな経験を持っているのです。今、老人と呼ばれている人たちの力がこのとき、大きな力となったことは、紛れもない事実です。そのときの経験を今伝えて、“ガンバル日本”に力を与えたいと思うのです。現地に行くことはできませんが、私たちにできることで力になりましょう。

「歌」は、その力の一つです。みんなに届ける思いを、一つにして歌いましょう。

日本中がほんとうの“やすらぎ”になる日まで。

(N. N記)

プログラム

☆いよいよ合唱にチャレンジ☆

指導：松崎陽治、ピアノ：増本博子

季節の歌							二部合唱				
1)	さくらさくら	64	78	5)	霞か雲か	62	76	8)	花	22	22
2)	チューリップ	60	74	6)	春の日の花と輝く	270	290	9)	花の街	48	48
3)	蝶々	58	72	7)	早春賦	39	39	10)	野なかの薔薇	274	294
4)	朧月夜	63	77	8)	歌声ひびく	368	400	11)			

《休憩 10分》

☆今月のゲスト☆

☆ フルート 樋口聖子 ☆

<曲目>

春の海、アンダルーサ、メヌエット、中国地方の子守歌、ブラームスの子守歌

<プロフィール>

洗足学園大学音楽科管楽器(フルート)専攻、首席卒。卒業に当たり、優秀賞受賞。同年、デビューリサイタルにて好評を得る。かながわ学生音楽コンクール第二回入選、第三回奨励賞受賞。フルートを内田秀夫、野口龍、宮本昭恭各氏に師事。また在学中、ピエール・モンティ、マクス・ラリュエ両氏に公開レッスンにて師事。

現在はフルートの他、オカリナ、リコーダーなども扱い、アンサンブルや後進の指導を行う。

(皆さんといっしょに) 《 さよならは言わずに行こう! 》

<事務局から>

- ・ 愛唱歌 受付にてお求め頂きます(¥1000/冊)。お忘れの方はレンタルをご利用ください(¥1200 / 返却時 ¥1000 返金)
- ・ 皆さんのご感想をアンケートにお書きください、今後の例会に反映させて参ります。(鉛筆はお帰りに 返却箱に!)
- ・ 今までの例会の写真、ご希望の方は受付にてお求めください。(¥200 / 枚)
- ・ やすらぎコンサートのHP <http://yasuragi1998.web.fc2.com/>